

領域	専門基礎分野	授業科目	解剖生理学Ⅳ	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業回数	14回
担当講師名	非常勤講師		講師所属		
特記事項	—			—	

### 授業のねらい

看護は医療を担う重要な仕事である。適切な良い看護を行うためには、人の身体や疾病についての十分な知識をもつことが不可欠であり医療の質を高める上で重要である。

人体は構造的に連続した器官系統でできており、機能的にはそれらの系統が互いに相関しあって高度な身体機能が営まれている。看護を学んでいく中で人間を理解する身体的側面として、人体の器官系を学ぶ。また、正常な生理機能・防御機構を学習し、看護実践の基礎となる疾患の病態生理基礎が理解できるようになる。

解剖生理学Ⅳでは、骨格筋・筋、脳神経、感覚器のメカニズム、生殖器の働きについて教授する。

### 授業目標

脳神経のメカニズムと働きについて理解できる。

骨格筋・筋のメカニズムと働きについて理解できる。

感覚器・生殖器のメカニズムと働きについて理解できる。

### 授業概要

#### 1. 情報の受容と処理…脳・神経 (22 時間)

- 1) 神経系の構造と機能
- 2) 脊髄と脳
- 3) 脊髄神経と脳神経
- 4) 脳の高次機能
- 5) 運動機能と下行伝導路
- 6) 感覚機能と上行伝導路
- 7) 疼痛 (痛み)

#### 2. 内臓機能の調節

- 1) 自律神経による調節

#### 3. からだの支持と運動

- 1) 骨格とはどのようなものか
- 2) 骨の連結
- 3) 骨格筋
- 4) 体幹の骨格と筋
- 5) 上肢の骨格と筋
- 6) 下肢の骨格と筋
- 7) 頭頸部の骨格と筋
- 8) 筋の収縮

#### 4. 体表からみた人体構造

#### 5. 生殖・発生と老化のしくみ (2 時間)

- 1) 男性生殖器
  - (1) 精巣（睾丸）
  - (2) 精路（生殖器）と付属生殖腺
  - (3) 男性の外陰部
  - (4) 男性の生殖機能
- 2) 女性生殖器
  - (1) 卵巣
  - (2) 卵管・子宮・膣
  - (3) 女性の外陰部と会陰
  - (4) 乳腺
  - (5) 女性の生殖機能
- 3) 受精と胎児の発生
  - (1) 生殖細胞と受精
  - (2) 初期発生と着床
  - (3) 胎児と胎盤
- 4) 成長と老化
  - (1) 小児期の成長
  - (2) 老化
6. 情報の受容と処理…眼（2時間）
  - 1) 眼の構造と視覚
    - (1) 眼球の構造
    - (2) 眼球付属器
    - (3) 視覚
7. 栄養と消化・吸収（2時間）
  - 1) 口・咽頭・食道の構造と機能
    - (1) 口の構造と機能
  - 2) 味覚器と味覚

## 授業の進め方

講義

## 教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能〔1〕（医学書院）

## 参考図書

からだの地図帳（講談社）

## 評価方法

終講時 客観式テスト（90点 10点）

試験時間は時間数に含む。